

令和4年5月2日（月）
国土交通省関東地方整備局
東京空港整備事務所

記者発表資料

令和4年度 東京空港整備事務所の事業概要について

令和4年度の東京空港整備事務所の主な事業概要は以下のとおりです。

拠点空港である羽田空港においては、航空旅客の内際乗り継ぎ利便性向上を図るために必要な人工地盤の整備の検討に着手するほか、空港アクセス鉄道の基盤施設整備、駐機場の整備等、新型コロナウイルス感染症収束後の航空需要の回復及び増加も見据えた空港機能の拡充に向けた整備を実施します。

また、引き続き地震発生後も航空ネットワークの機能低下を最小限にとどめるための滑走路等の耐震性の強化及び防災・減災に向けた護岸等の整備を推進します。

※ここに示す事業計画等は現時点における予定であり、今後変更される場合もあります。

東京空港整備事務所ホームページURL <https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、東京航空記者会

問い合わせ先

所属	国土交通省	関東地方整備局	東京空港整備事務所
氏名	副所長	大野 勉	(おおの つとむ)
	第一工務課長	加藤 浩司	(かとう こうじ)
TEL	03-5757-2076		
FAX	03-5756-4974		

とうきょうこくさいくうこう はねだ くう こう せいび じぎょう
東京国際空港(羽田空港)整備事業

R4年度事業費： 265.4億円
【東京都】直轄

事業の概要

羽田空港においては、空港機能の拡充や防災・減災対策に資する取組を進めています。

令和4年度予定

○令和4年度予算では、拠点空港としての機能拡充に向けて、航空旅客の内陸乗り継ぎ利便性向上を図るために必要な人工地盤の整備の検討に着手するほか、空港アクセス鉄道の基盤施設整備、駐機場の整備等を実施します。

また、引き続き地震発生後も航空ネットワークの機能低下を最小限にとどめるための滑走路等の耐震性の強化及び防災・減災に向けた護岸等の整備を推進します。

事業の効果

- 人工地盤の整備により、航空旅客の内陸乗り継ぎ利便性が向上します。
- 空港アクセス鉄道の基盤施設整備により、羽田空港のアクセス利便性が向上します。
- 夜間駐機場の整備により、拠点空港機能が強化されます。
- 滑走路等の耐震対策により、地震発生後も航空ネットワークの機能低下が最小化されます。

【令和4年度 主要整備事項】

